

2024年3月25日

株式会社 千葉銀行

株式会社五常向け「ちばぎんSDGsリーダーズローン」の取組みについて

千葉銀行(頭取 米本 努)は、株式会社五常(代表取締役 河野 佳介、本社:千葉市)に対して、「ちばぎんSDGsリーダーズローン(サステナビリティ・リンク・ローン型)」を取り組みましたのでお知らせします。

「ちばぎんSDGsリーダーズローン」は、サステナビリティ経営を積極的に実践しようとする事業者さまが、事業規模や経営実態に合わせて有効な目標等を設定する融資制度です。

貸出先の株式会社五常は、千葉市で物流機器の開発販売、倉庫工場の総合建設業を営んでいます。経営理念に「悩み解消」を掲げ、商品や工事を売るのではなく、なぜそれが必要なのかを聴く事で、問題の本質を見つけ解決することを仕事としています。お客様の声から生まれる新しい商品や施工、これが事業の成長につながっています。

また、SDGsの取組みとして、2021年には勝浦市の全中学校の体育館に熱中症や喚起対策として、同社が開発したシーリングファンである「スマイルファン」を導入したほか、2023年5月にはサステナブルオフィスを開業させました。同社は水、電気、自然エネルギーを活用し、災害時には地域の防災拠点として、新しいオフィスの価値を追求しています。

今回、SDGs達成の取組みとして、自社の事業活動における売上高1億円当たりの二酸化炭素排出量の削減目標を策定しました。目標達成時には当行が金利を優遇することで、お客さまの目標達成に向けた動機付けを行い、お客さまのサステナビリティ経営を後押しします。

当行は今後もグループ一体となって、サステナブル・ファイナンスを提供することで、お客さまや地域社会のパートナーとして、社会・環境問題の解決に資する取組みを一層推進し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

【案件概要】

貸出先	株式会社五常	資金使途	運転資金
契約締結月	2024年2月	融資金額	100百万円
融資形態	証書貸付	第三者評価機関	株式会社ちばぎん総合研究所

【本件のSPTs^{※1}について】

設定内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
売上高1億円当たりの二酸化炭素排出量 (t-CO2/億円)	8.1645	8.0381	7.9117	7.7853	7.6589
(参考) 2020年度比削減率 ^{※2}	▲13.55%	▲14.88%	▲16.22%	▲17.56%	▲18.90%

※1 SDGs・ESG戦略における事業挑戦目標(サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット)

※2 2020年度(2020年9月~2021年8月)売上高1億円当たりの二酸化炭素排出量実績9.4437(t-CO2/億円)
以上